

會議概要

件 名	令和 6 年度 第 2 回安曇野市スポーツ推進委員会 代表者会議
期 日	令和 6 年 9 月 18 日（水） 午後 7 時 00 分～
場 所	安曇野市役所 3 階 会議室 305
出 席 者	安曇野市スポーツ推進課 : 2 名 安曇野市スポーツ推進委員: 会長 豊科: 2 名 穂高: 2 名 三郷: 2 名 堀金: 2 名 明科: 1 名
配布資料等	・ 令和 6 年度 第 2 回安曇野市スポーツ推進委員会代表者会議次第 (資料 1 ～ 2)
1. 開会 2. あいさつ ・ 前回代表者会議にて、今年の活動方法について検討したところ、全体会議で意見を募るとい う話となった。全体会議では様々な意見が出ており、今回資料としてお配りしている。それ ぞれの意見を昇華しさらに進んだ議論としていきたい。 3. 協議事項 (1) 安曇野市スポーツ推進委員の活動について 【会長】 とりあえず各班にて書き出したものを原文ままでお配りしている。たくさんの意見が出て 全て一括にまとめるのは難しい。他に意見があればさらに発言してほしい。 【会長】 豊科地域でイベントを開催しようとしたが広報などの難しさから断念した経過があった。 公民館やスポネット常念との共同開催のイベントはあったが、推進委員のみでの開催経験は ない。体力測定会についても推進委員の中に資格者はいるものの単独開催は大変。Link へ推 進委員を登録したことでお声がけいただく機会が増えているが、今後の活動の展開としてど のようにしたら良いか。 【委員 A】 ニュースポーツは裾野が広く様々な競技がある。特定の競技のみ普及するのではなく、複 数の種目について推進委員で研究をし、新しい競技を公民館等へ普及させていくような機会 が増やせれば良い。したがって推進委員が勉強、体験する機会がもって増えても良いのでは ないか。 また、体力測定会を催したいという意見が多い印象がある。市や公民館と協力して開催の 機会を伺っても良いのではないか。また、健康診断を同時開催するなどして、自身の健康状	

態に関心を持っていただける契機とできれば良い。

【委員 B】

推進委員の活動については、推進委員の会議の中で年間計画をたてて取り組んでいくのが望ましいが、実際は市や公民館から降りてくる事業に協力している形になっている。1 年間の大枠で何をどうするか計画を立てて、研修・研究・講習会などを開催していくべきと感じる。

公民館や市からの依頼についても例年決まっているものであれば、あらかじめ計画に盛り込んだうえで効率的に他の事業にも取り組んでいくことができる。地域単位ではなくスポーツ推進委員全体で取り組む姿勢が基本であるため、会長や地域代表で取りまとめて全体に協力を仰ぐのが良い。地域ごとに活動頻度に偏りがあるのは望ましくない。

【委員 C】

ニュースポーツの普及イベント等を推進委員主導で企画するといっても、委員自体がニュースポーツ等に明るくないケースもある。そのため、勉強会や講習等で知識をつけていけるのが望ましい。また市で所有しているスポーツ用品の種類や所在が分からないため、どんな競技に取り組むべきなのかが分からない。

【委員 B】

用具一覧があるならば共有してもらいたい。市で持っている用具が分かれば、競技の研究や普及活動がし易くなるのではないかな。

【委員 D】

高齢化社会で生涯スポーツの普及が求められる中で、その役割を担うのが推進委員でありたい。みんなが参加しやすい、参加したくなるような工夫（参加ポイントを設けるなど）を凝らして、各公民館等を巡回する形で体力測定会などを開催できれば良い。

堀金地域のスポネット常念の活動は、スポーツ普及のためのノウハウをもっているため、堀金地域のみではなく市全体に波及させていきたい。

【委員 E】

取り組み易さからいうと、スポネット常念の事業に推進委員として全面的に協力する形も良いのではないかな。例えばスポネット常念の事業（スポーツカフェ等）の中で推進委員のみで担うような単位、カリキュラムがあれば良いのではない。

【委員 B】

スポネット常念の活動は堀金地域のみにフォーカスしている面があるため、スポーツ推進委員が協力していくことで安曇野市全体への活動へ推移させていくことができないかな。

【委員 E】

スポネットとしても、立ち上げ時から堀金のメンバーが多く、地域密接にやってきた経過がある。他地域の推進委員に依頼することは遠慮しているような印象もある。最近はスポー

ツカフェなどの事業で推進委員に協力を依頼しているものもある。推進委員の協力があり、人手があればさらに幅広く活動ができる可能性がある。

【事務局 A】

スポーツ推進委員は市の特別職として報酬を払っていることから、市からの委託事業（スポーツカフェ）を全面的に請け負う（主催する）のは懸念がある。ただし、市からの委託事業に絡めるのではなく、スポネットの独自事業の中でやる分には問題ない。今後の活動にも関連することであるため、地域総合型スポーツクラブと推進委員との活動の距離感については、県担当にも確認してみたい。

【事務局 B】

ニュースポーツの研修や勉強会について話題があったが、特定の種目について協議方法などを知りたい場合、県体育センター職員が講習をしてくれる制度があるとのこと。

【事務局 A】

体育センターに依頼する場合には、特定の種目を指定する必要があるため、ある程度推進委員内でも種目を選定する必要がある。

【委員 E】

せっかく道具があるため、推進委員でどんどん勉強会をして、利用者に教えられる幅を広げていくのが良い。

【会長】

体育センターの初任者講習でも、ニュースポーツ講習の時間を割いている。推進委員のかつての活動として、委員各自それぞれ競技を受け持って学習をしていた。

【委員 E】

道具の在庫確認も兼ねて、ニュースポーツの動画が保管してある体育館で講習もできれば一石二鳥で良いのではないかと。最初は推進委員のみの講習で、その後に公民館の体育委員や一般の市民も募集していければよい。

【事務局 A】

勤スポ、穂高体育館、堀金総体の三カ所で借りる日時を決めて、それぞれの日時に集まれる委員で道具整理がてら講習を開催できればよいのではないかと。

【委員 E】

道具の講習がてら、その道具のできる他の遊び方を模索していくのも面白い。

【会長】

では意見の通り、市で所有しているニュースポーツ用品の確認を兼ねた勉強会を開催する方向で検討したい。11月～12月あたりで、体育館の予約がとれる日時を事務局で確認してもらい、それぞれ参加できる委員を募る形を取りたいがよろしいか。

【委員一同】

異議なし

(2) その他

- ・ 体力測定に協力していただける方はよろしくお願いいたします。
- ・ 長野県研究協議会については先日の通知の通りご参加願いたい。
- ・ 次回 11 月の全体会議は、先ほどの協議事項にあったようにニュースポーツ講習会としたい。
- ・ ワンバウンドふらばーるバレーが市民スポーツ祭で採用されている。各地域の推進委員におかれてはご協力をお願いしたい。

4. 閉会

特記事項等